



森六
MORIROKU

会社案内

森六株式会社



森六の360年は、挑戦の歴史である。

藍を世界に広げたときも。
合成樹脂を取り扱い始めたときも。
メーカーとして立ち上がったときも。

そして、400年をめざす今も。

長い歴史の中で培った変革のDNAを受け継いで、
これからも私たちは新しい価値を生み出し、
お客様の期待を超えていく。

森六の挑戦は、まだまだ終わらない。

[経営理念]

森六グループは、未来を先取りする創造力と優れた技術で高い価値を共創し、
時を越えて、グローバル社会に貢献します

- | | |
|---------|---|
| 1.法令遵守 | 国内外の法令を遵守し、公平で公正な企業活動を通じ、
信頼される企業グループをめざします |
| 2.人間尊重 | 社員一人ひとりが自主性、創造性を発揮し、
一緒に働く仲間の人格や個性を尊重します |
| 3.顧客満足 | お客さまに満足いただける、価値ある情報、
質の高いサービス、優れた製品を提供します |
| 4.社会貢献 | 地球環境に配慮し、地域に根ざした企業活動を通じ、
「良き企業市民」として社会に貢献します |
| 5.進取の精神 | 時代を先取りし、継続的に企業価値向上に努めます |
| 6.同心協力 | チームワークを尊重し、理想を追求する企業グループを
めざします |



- | | | | | | |
|------------|-------------|--------------------|--------------------|-----------------|--------------|
| 1. 経営理念 | 5. サステナビリティ | 8. 生産事業本部の製品 | 12. 強み3-グローバルな生産体制 | 15. ケミカル事業本部の強み | 18. ものづくり |
| 2. 社長メッセージ | 6. 最新TOPICS | 9. 一貫体制 | 13. 最新TOPICS | 16. 事業紹介 | 19. ものづくり |
| 3. ネットワーク | 7. 最新TOPICS | 10. 強み1-先行開発による提案力 | 14. 最新TOPICS | 17. ものづくり | 20. 最新TOPICS |
| 4. 歴史 | | 11. 強み2-確かな品質保証 | | | |

常に変革を目指す創業以来のDNAを継承し、 次なる未来を築く新たな価値を創造していきます

森六は1663年（寛文3年）に創業。360余年の歴史を有する国内最古参の化学専門企業グループへと成長し、多くのお客さまやお取引先様との信頼関係に支えられ、長きにわたり社会が必要とするニーズを先取る新たな価値を提供してまいりました。

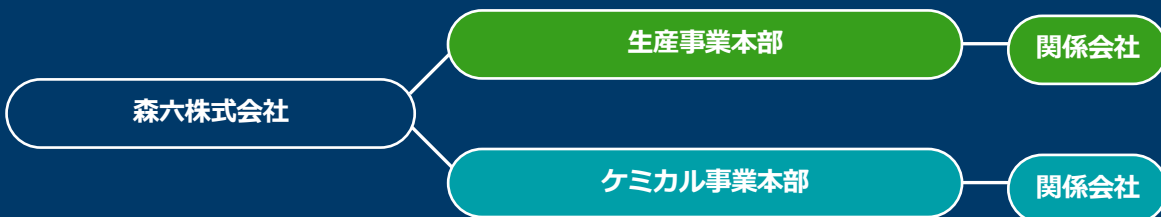
社会から信頼され必要とされるパブリックカンパニーとして、これまで以上に経営基盤の強化を図り、ステークホルダーのみならずとの建設的な対話を通じた共創経営に注力し、新たな時代にふさわしい森六グループへと変革を進めてまいります。サステナビリティの実現を経営の根幹に位置づけ、多様な価値観を持った人材がいきいきと活躍し成長できる環境を整備すること、ESG経営の実践による事業を通じた社会課題の解決や地域社会の持続的な発展に貢献することを目指します。

長い歴史の中で培った“変革のDNA”を受け継ぎ、「400年企業」へとつながる次なる未来を築く新たな成長へ、グループ一丸となって挑戦を続けてまいります。

森六株式会社
代表取締役社長 最高経営責任者
黒瀬 直樹



樹脂成形部品のメーカーと、幅広い事業領域をもつ化学品商社機能が一体となってお客さまのニーズに応える付加価値の高い提案を行っています



グローバルネットワークで顧客のニーズに対応

14カ国64拠点に研究・開発・生産・営業拠点をもち、世界中のお客さまのローカルニーズに柔軟に対応しています。

ASIA

生産事業本部 12 拠点

ケミカル事業本部 10 拠点

NORTH AMERICA

生産事業本部 5 拠点

ケミカル事業本部 2 拠点

EUROPE

ケミカル事業本部 3 拠点

JAPAN

コーポレート部門 1 拠点

生産事業本部 12 拠点

ケミカル事業本部 20 拠点

[事業所]

14 カ国

64 拠点

詳細はこちら >



時代の変化を乗り越えて、さらなる価値創造に挑み続ける

1663（寛文3）年、阿波（徳島）の地で創業した森六グループは、
藍や肥料の流通を手がけて以来、化学品の普及や産業のグローバル化とともに歩んできました。

詳細はこちら



— 1663年 —

創業

森六の創業者である初代森安兵衛が、阿波国（徳島県）で藍玉と、その肥料の商いを始めました。



明治中期の地元新聞広告



藍染の様子

— 1909年 —

近代化学産業に進出

時代の流れに応じて、インド藍・人造藍の輸入を経て、合成染料の取り扱いを始めました。



当時の森六商会

— 1958年 —

製造業に事業を展開

本田技研工業株式会社のスーパーカブに低圧ポリエチレン「ハイゼックス」が採用され、樹脂加工事業を立ち上げました。



鈴鹿工場竣工（1965年）



関東工場開設（1980年）

— 1986年 —

グローバル展開

アメリカオハイオ州に海外初の事業・生産拠点 Greenville Technology, Inc. を設立しました。



Greenville Technology, Inc.

— 2017年 —

東証1部に上場

株式上場を機に、あらゆるステークホルダーへこれまで以上に大きな貢献を果たすべく、400年企業に向けて新たなスタートを切りました。



東証一部上場

Aiming for 400 years.

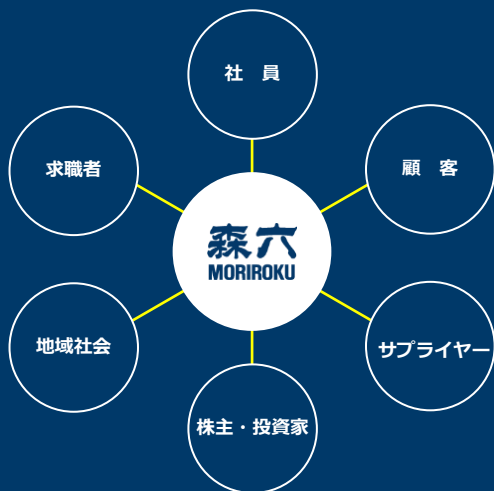
社会の一員としてグローバル社会の未来に貢献するために

創業から360年、森六グループはさまざまなステークホルダーに支えられて事業活動を続けてきました。「森六グループ サステナビリティ方針」のもと、すべてのステークホルダーに配慮した事業活動に取り組み、社会課題解決に貢献することで、皆さまからますます期待され、求められる「400年企業」を目指します。

詳細はこちら



森六グループを取り巻くステークホルダー



[森六グループ サステナビリティ方針]

私たちは、経営理念に基づき、新たな時代に必要とされる価値をステークホルダーと共創し、社会の持続的成長に貢献します。

- グループの機能・リソースを最大限に活用し、従来のビジネス領域を越えた社会課題解決に挑戦します。
- カーボンニュートラルおよび資源の循環利用に貢献する革新的なものづくりで、持続可能なモビリティ社会を目指します。
- サプライチェーン全体を通してグリーンケミカルを提供し、エコロジカルな循環型社会の実現に貢献します。
- 人権の尊重を基盤にすべての従業員の幸福を追求し、多様な人材が働きがいをもって活躍する組織から、新たな価値を生み出し続けます。
- ステークホルダーとの対話を通じて社会の期待・要請を理解し、透明性が高く誠実な企業活動によって相互の信頼を育みます。



あらゆる企業活動を通じて個を尊重しあい、
社会の持続的な成長に貢献していきます



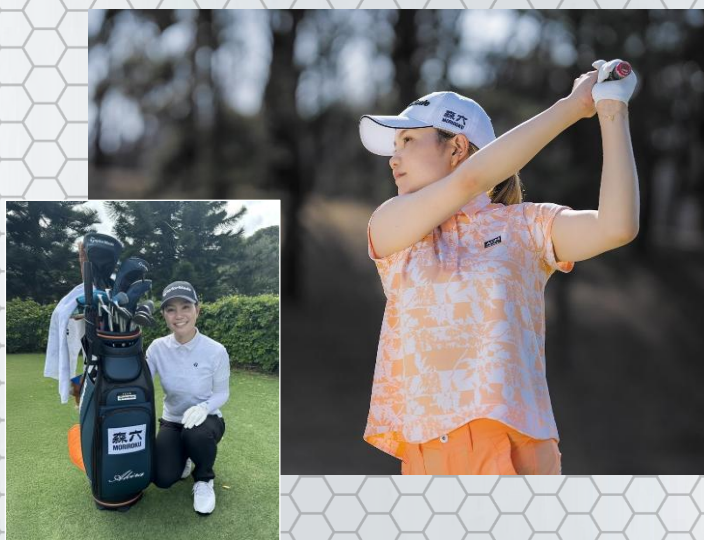
経営理念・行動指針に準じる当社グループの基本姿勢として策定した「人権方針」に基づき、グローバルに広がるサプライチェーン全体で人権に配慮した事業活動を遂行し、経営のレジリエンス向上を実現していきます。

株式会社レゾナック自動車成形部材事業の承継と
新体制のスタート



2026年4月1日、森六グループはレゾナックの自動車成形部材事業を承継し、国内2拠点（茨城・福岡）とタイ事業を譲り受け、3社を新たな仲間として迎えました。多様な経験を持つ人材が加わることで組織に新たな視点が生まれています。相互理解と対話を重ね、それぞれの強みを活かしながら実務で成果を積み上げることで、ステークホルダーの皆さまにより高い価値を提供し、持続的な成長につなげてまいります。

女子プロゴルファー 山路晶選手を応援しています



「共に成長し、グローバルに挑戦したい」という森六グループの期待を込めて、2019年9月から山路晶（やまじあきら）選手と所属スポンサー契約を締結しています。山路選手の活躍の様子は、専用WEBサイトを通じて随時発信しています。皆様の応援をよろしくお願いいたします。

車いすテニスプレイヤー 城智也選手が入社し世界で活躍しています



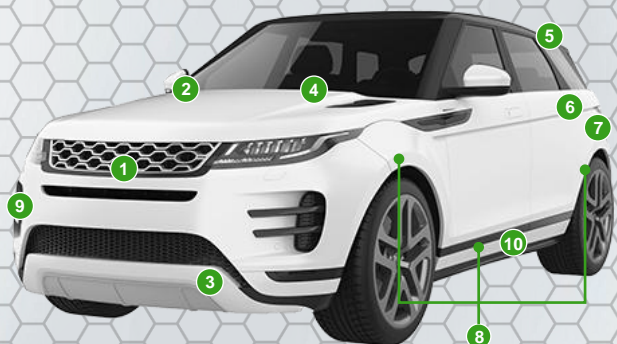
2025年4月1日、森六グループは車いすテニスの城智哉（たちともや）選手と所属契約を締結し、新卒社員として迎えました。日本代表としてロサンゼルス・パラリンピックを目指す若手有望選手であり、国内外での活躍を通じて「創造力とイノベーションでリードする」というグループの想いを体現し、全社で支援してまいります。

複雑化するモビリティ業界のニーズに応え、 多彩な技術で高品質な製品を生み出しています

自動車の樹脂成形部品から、二輪外装部品、機能部品まで、幅広くラインアップしています。
市場ニーズに基づく提案型の開発で生まれたアイデアは、試作とテストによって磨き抜かれた設計図となり、
世界中の工場で、最適な品質基準を守って製品として量産されます。



詳細はこちら



四輪外装部品



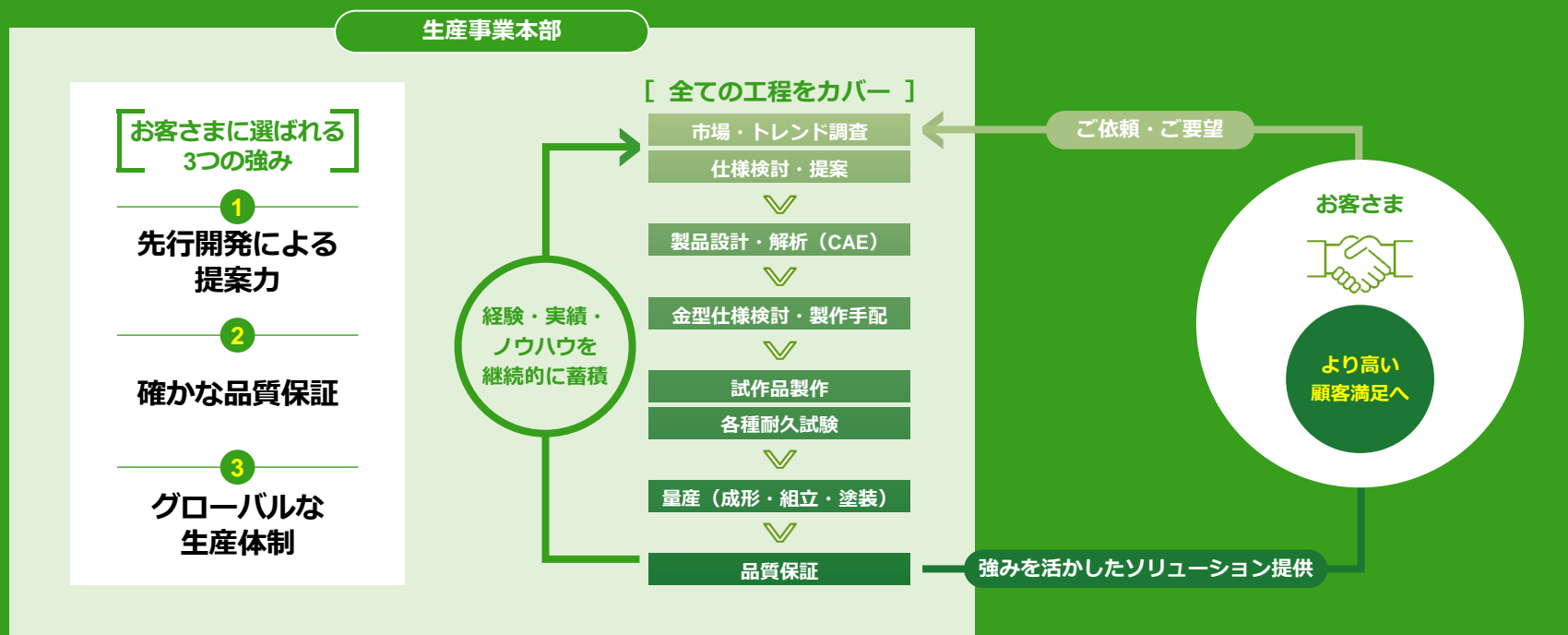
四輪内装部品



企画から量産までをカバーする一貫体制で、 お客さまの期待を超えるソリューションを提供

生産事業本部は、製品の企画から設計、金型仕様検討・金型製作手配・熟成、試作・試験、量産に至るまで、社内で一貫して行う体制を構築しています。納品に向けた進捗と課題を多角的な視点で管理し、より高い顧客満足を実現するとともに、絶えずPDCAを回すことにより継続的に知見を蓄積しています。

詳細はこちら



モビリティ事業を担う強力なパートナーとして、未来のクルマをカタチにする

ユーザー視点に基づいてモビリティ産業のトレンドやグローバルな市場ニーズを先取りし、モビリティメーカーに対する自発的な提案を繰り返し行うことで、パートナーとして未来のモビリティのコンセプトをカタチにします。

詳細はこちら



先行開発のステップ



[STEP 1] 市場リサーチ

- 世界各地の展示会などに足を運び、現地調査
- トレンドを探りつつ、優れた技術やアイデアを分析



[STEP 2] ニーズの先取り

- 市場調査に基づくユーザーニーズの整理
- 近い将来の実用化が見込まれるモビリティ業界のトレンドを予測



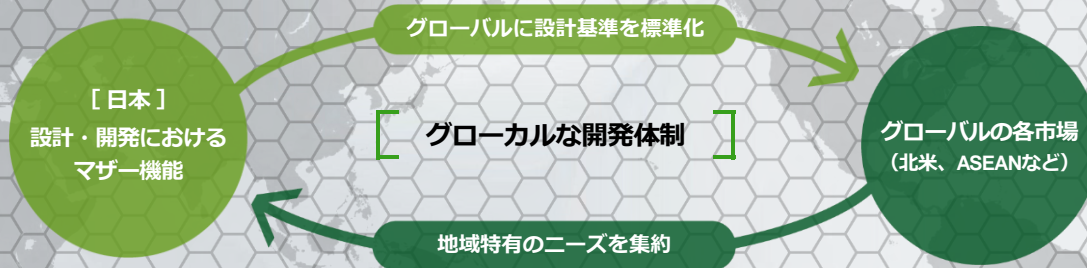
[STEP 3] コンセプト設計

- 新たなコンセプトを構築
- 具現化に向けた詳細設計と解析



[STEP 4] モックアップによる提案

- リアリティのあるモックアップ製作
- モビリティメーカーに対してプレゼンテーションを実施



知見を新たな商品開発に活かし、より高い品質レベルを追求

実際の使用状況を分析して得られた知見を新しい製品の設計に活かし、自社内で品質評価・信頼性試験を重ねています。さらに、日本・北米がマザーとなり、各地の品質保証機能を担うことで、グローバルに均一な品質レベルを確立しています。

詳細はこちら



品質保証のPDCA

開発

試作→品証チェック

この設計（図面）で必要な性能を満たすか？

量産

品質管理

初期流動管理と製造ロット管理で不具合流出防止

市場

品質チェック/分析・調査

新しい提案・商品開発に活かす

日本マザーが
各地の製造拠点を
バックアップ



真岡開発センター

グローバルな品質保証体制

● 開発拠点（マザー） ● 製造拠点

ノウハウの
共有

北米マザーが
各地の製造拠点を
バックアップ



Moriroku Technology
North America
Head Office & R&D

各種試験設備



電子顕微鏡による解析



環境振動試験



風洞試験



ロボットによる
作動耐久テスト

グローバル各市場に密着した生産体制で、モビリティメーカーの生産最適化をサポート

グローバルに点在するモビリティメーカーの拠点に隣接することで、生産にまつわるリスクの低減に貢献しています。また、大小内外装部品の塗装、フィルム等による一体成形など、さまざまな加飾技術を用いて、世界各地の多様なニーズにお応えしています。

詳細はこちら



各市場に近いところから供給できる



モビリティメーカーにとってのメリット

- 現地化率の向上により、関税を低減
- 為替変動への耐性がある
- ニーズ（台数）変動に対応できる
- リードタイムが短い



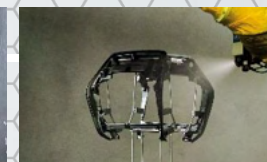
多彩な加飾技術のラインアップがある



各市場ニーズに合った製品を供給できる

【生産事業本部の加飾技術】

原着加飾技術	2層加飾工法
塗装	内外装塗装
フィルム加飾技術	インモールド成形
	インサート成形
	ホットスタンプ工法
	FILM貼合工法
表皮加飾技術	凹引き真空成形
	MSMシート工法
	FILM貼合工法（シート貼合）



内外製品の塗装



シート一体成形

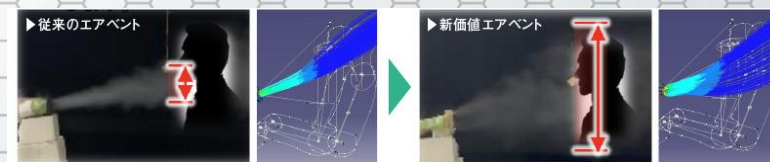
Honda N-BOX 外装ホットスタンプ初採用



Honda N-BOXには、外装部品では初となる、メッキ加工の代替となるホットスタンプ加飾を用いたラジエーターグリルを量産化し、環境負荷低減に貢献しています。

高延伸の転写箔を効果的に追従させる独自工法を開発。この独自工法により、自動車内外装部品のデザイン性を向上させる提案を進めます。

快適性・意匠性を兼ね備えた 新しい車内空間価値の提案



近年、EV化や自動運転の進展により、車は「いかに走るか」から「どう過ごすか」にシフトし、より車内空間の快適性が求められます。気流を分割・拡散させ、二つの気流に挟まれた中央領域へ配風が引き込まれることでふんわりと快適な空調風を実現し、新しい車内空間価値を提供します。

また、広い加飾面を創出することで、照明による陰影やグラデーションなどの演出変化による高意匠化を実現しました。

石油由来材を削減し 植物由来材の価値を表出



環境にやさしい素材は、持続可能な地球環境を守る社会貢献手段として一定の理解を得ながらも、目に見える価値としては感じにくいものもあります。森六グループは、石油由来剤とその物性を強化する添加物（タルク等）の代替材として非可食廃棄物や植物由来材の研究に着手。確かな車載品質を保つ最適な配合率や形状設計に関するノウハウを研究しています。

高意匠外観と合理化を両立 軽量化に貢献する導光体一体多層加飾

※多層成形は量産実績あり



独自の金型構想により表層と基材層の間に印刷フィルムを挟む技術を開発し、多層加飾のバリエーションが大きく増加しました。透明樹脂層と導光体を同時に成形する難易度の高い技術を開発し、加飾と照明を最小限の金型構造と部品点数で一体化とする合理化設計を可能としました。

つなぐ・つくる・解決する— お客さまのニーズに応えるソリューションプロバイダーとして

人と人をつなぐ、人とモノをつなぐ。グループ企業の技術やアイデアを結集して、化学品で「新たな価値」を創出する。ユーザーや社会が抱える課題を解決するために、総合力で挑戦を続けています。

つなぐ

商社としての知見

【ケミカル事業本部】

強固な経営基盤と信頼関係

4,000社を超えるお取引先

幅広い事業領域での経験ノウハウ

化学分野における専門知識



つくる

独自技術を持った関係会社のネットワーク

生産事業本部

モビリティ向け樹脂部品の開発から量産まで

アイ・エム・マテリアル

冷凍粉碎

森六アグリ

農業資材販売、農業フィルム加工

四国化工

高機能多層フィルム成形

五興化成工業

化学品の製造受託

M&Cテック

押出成形品の製造



解決する

グローバルなビジネス展開

【12カ国・36拠点】

世界中の市場、ユーザーニーズを先取りする

世界中から素材を探し出し、ものづくりにつなげる

世界中のお客さまが抱える課題を解決する

6つの事業領域で、幅広い分野のお客さまをトータルにサポートします

食、暮らし、住まいから、電機・電子、モビリティまで、幅広い分野のニーズに応えます。



1 ファインケミカル

「ものづくり」をテーマに、ファインケミカル商品、化粧品原料、機能樹脂・樹脂添加剤、フード&ヘルスケアの4つの主要分野で、グローバルに受託加工を行っています。



2 コーティング

塗料・インキといったコーティング分野や工業薬品分野、環境エネルギー分野のお客さまに、基礎化学品や特殊機能製品などの幅広い商材を提供しています。



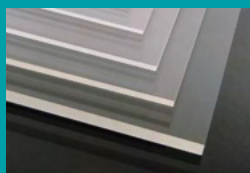
3 電機・電子

電子部品市場を核に、半導体材料、光学シート、LED材料、放熱材料などをグローバルに提供。各市場での専門性を武器に、付加価値のある提案を行っています。



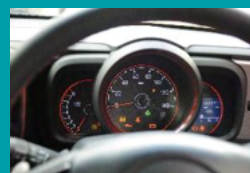
4 生活材料

住設・建材・生活・環境の各分野で、国内外のお客さまのニーズに対応した合成樹脂原料および樹脂加工品をグローバルに調達し、提供しています。



5 モビリティ

開発段階からお客さまに関与し、ソリューションプロバイダーとして新素材・最先端技術の共同開発をコーディネート。グローバルな供給体制でお客さまのニーズに対応します。



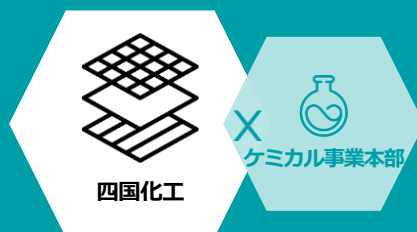
6 樹脂加工製品

樹脂成形加工技術を有する製造子会社・製造協力会社と一体となった体制で「ものづくり」分野での新たな価値を創造しています。



関係会社と協働するものづくり

グローバルなネットワークに支えられた情報収集力と、グループ各社のもつ高い技術力を掛け合わせ、お客さまのニーズに合ったさまざまな高機能素材を開発・提供しています。



共押出多層フィルムの製造・販売



高光沢で高透明、最適な機械適性やラベル接着性などを満たした食品分野に適したフィルム



厳格な品質管理のもと生産され、製品の安全と安心を提供できる、クリーン&アセプティックな医療用フィルム

事例紹介

時代とともに変化するお客さまのニーズに応える製品を柔軟にご提案

40年以上にわたって磨き続けた製膜技術をベースに、原料の知識と独自設備の組み合わせによる開発力、設備や構造物に配慮したクリーン環境、顧客現場に精通したアフターメンテナンス、特殊加工を得意とする製袋技術などを駆使し、食品、衣料、半導体用フィルムなどさまざまな分野や用途のお客さまへフィルムをお届けしています。お客さまから求められる性能や機能は多岐にわたるため、それぞれのニーズに応えるべく、幅広い製品ラインアップを展開しています。

【 ポリエチレン樹脂の コルゲート（波形）形状成形 】

省資源化に貢献しつつ
優れた加工性・耐久性を
実現する

樹脂の成形・加工技術を活かして、多層フィルム以外にも、40年以上前からポリエチレンをコルゲート（波形）形状にしたプラスチック段ボール「APTON®」を日本で唯一生産しています。このプラスチック段ボールは硬さや緩衝性を自由に変えることができるうえ、再生原料を用いているため、環境負荷低減・省資源化に配慮した包装材・部材として幅広い産業分野で活用されています。



「APTON®」を繊細な苗木を支えるコンテナとして活用



化学品の製造受託



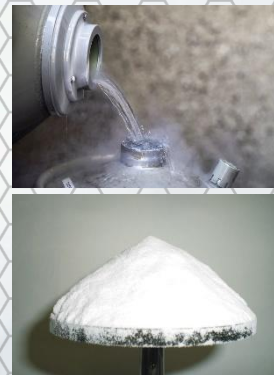
低温粉碎



事例紹介

染料合成・臭素化反応で培った技術を活かして、ファインケミカル分野で事業を展開

化学品中間体に対し、合成反応、晶析、固液分離、精製のサービスを提供。塩素化、臭素化、さらにフッ素を含む機能性素材、農薬中間体の受託のほか、近年のニーズに合わせたリサイクル環境ビジネスにも進出し、工業薬品や自動車、農薬、電材など、幅広い分野で実績を重ねています。



事例紹介

液体窒素の冷熱（ -196°C ）を利用し、常温では粉碎困難な物体から素材開発に必要な粉体を生成

厳しい品質管理のもと、エラストマーや低融点樹脂など、熱に弱く常温では粉碎できない素材を、 -196°C で低温粉碎します。それにより、さまざまな素材と均等に混ぜ合わせることができるようになります。大学や製薬企業とのネットワークも活かし、微粒子領域での粉碎や関連する機械装置の試作・開発を推進しています。



農業資材、
農産物販売、
農業用フィルム加工

- 肥料、農薬販売
- 農業用フィルム、資材販売及びフィルム加工
- 農作物（玄米、青果物）販売
- ゴルフ場資材（肥料、農薬、着色剤）販売



押出成形品の
製造

- 異形押出成形品の製造
- 押出成形品後の加工
（溶着、切欠きプレス、テープ貼り）



事例紹介

植物由来の
バイオスティミラント剤で、
持続可能な農業をサポート



バイオスティミラント剤は、天然由来で、植物・人・地球環境に対して安全性の高い資材です。高温、干ばつなどのさまざまな外的要因によるストレスを緩和し、農薬、化成肥料の低減など健全な農作物生育をサポートします。



事例紹介

グループの総合力で
モビリティの未来を創造します

CASE、MaaS、スマートシティ構想等、100年に一度の大変革期を迎えた今、二輪・四輪といったカテゴリーを越えてモビリティの未来は大きく広がります。ケミカル事業本部は、自動車材料や樹脂加工製品のノウハウを集約し、グループのネットワークを活用して、モビリティの未来を先取りしていきます。

高い経済成長率を見込むアジアを中心に
強固な海外ネットワークで新価値創出



インドに続き、2023年にはベトナム、2025年にはドイツに駐在員事務所を開設。「ファインケミカル」「モビリティ材料」「樹脂加工製品」「コーティング」「電機・電子」「生活材料」の6分野で、今後も経済成長が見込まれる欧州・アジアの有望市場を開拓し、イスラエルや欧州、米国と強固なネットワークを駆使して付加価値の追求による事業拡大を目指します。

素材の調達から樹脂材料開発および量産まで、
多角的なアプローチで実用化に取り組んでいます



可塑性、耐久性に優れ、製造コストも安価なプラスチックはモビリティにとって不可欠な素材ですが、再生プラスチック・バイオプラスチックなど、地球環境に貢献する多様な研究開発が世界中で進められています。森六グループもまた、素材の調達からコンパウンド・設計・解析などにおける強みや技術を活かし、多角的なアプローチでモビリティ部品への実用化に取り組んでいます。

森六株式会社

所在地	〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館18階 TEL 03-3403-6102
代表者	代表取締役社長 最高経営責任者 黒瀬 直樹
創業	1663年 (寛文3年)
設立	1916年 (大正5年) 3月
資本金	16億4,010万円
事業内容	化学品、合成樹脂製品の製造・販売・輸出入、および 四輪・二輪用部品、機能部品など合成樹脂製品の製造、 加工、販売、輸出入
グループ社員数	4,360名 (2025年3月末日時点)
グループ売上高	1,461億円 (2025年3月期)
URL	https://www.moriroku.co.jp/

国内拠点

森六株式会社

本社

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館18階
TEL 03-3403-6102

生産事業本部

開発センター

〒321-4345 栃木県真岡市寺内689-9
TEL 0285-80-6300

鈴鹿工場

〒519-0323 三重県鈴鹿市伊船町字北下ノ割2102-17
TEL 059-371-6520

関東工場

〒373-0015 群馬県太田市東新町817
TEL 0276-36-1000

国内関係会社

生産事業本部

株式会社ユーコウ

〒258-0111 神奈川県足柄上郡山北町向原59
TEL 0465-75-2815
資本金 2,000万円
事業内容 自動車二輪・四輪部品製造販売

森六ReNova株式会社 本社

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館18階
事業内容 自動車四輪部品開発製造販売

森六モビリティプロダクツ株式会社

〒825-0005 福岡県田川市大字糶2320番地

株式会社ユーコウ 角田営業所

〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館166
TEL 0224-63-1581

森六ReNova株式会社 名古屋営業所

〒530-6120 愛知県名古屋市西区則武新町三丁目1番17号
BIZrium名古屋5階

森六モビリティプロダクツ株式会社 関東事業所

〒308-0867 茨城県筑西市西山田405

熊本森六化成株式会社

〒869-1231 熊本県菊池郡大津町大字平川2527
TEL 096-293-1000
資本金 1,000万円
事業内容 自動車二輪・四輪部品製造販売

国内拠点

ケミカル事業本部

ケミカル事業本部

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館18階
TEL 03-3403-6179

大阪支店

〒530-6120 大阪府大阪市北区中之島三丁目3番23
中之島ダイビル20階
TEL 0944-56-5395

名古屋支店

〒530-6120 愛知県名古屋市西区則武新町三丁目1番17号
BIZrium名古屋5階
TEL 052-563-3525

四国支店

〒770-0931 徳島県徳島市富田浜3-12
TEL 088-622-6168

明石営業所

〒673-0898 兵庫県明石市樽屋町8-34
第5池内ビル7階701
TEL 078-919-6500

国内関係会社

ケミカル事業本部

四国化工株式会社

〒769-2797 香川県東かがわ市西山516-1
TEL 0879-23-3111
資本金 2億2,000万円
事業内容 合成樹脂フィルム等製造販売

五興化成工業株式会社

〒836-0891 福岡県大牟田市合成町37
TEL 0944-56-5395
資本金 3,000万円
事業内容 塗料、染料、医農薬中間物製造販売

アイ・エム・マテリアル株式会社

〒530-0047 大阪市北区西天満四丁目8番17号
宇治電ビルディング（13階受付）
TEL 06-6530-1011
資本金 5,000万円
事業内容 各種粉碎加工、受委託製造

森六アグリ株式会社

〒771-0137 徳島県徳島市川内町平石若宮73-1
TEL 088-665-3339
資本金 3,000万円
事業内容 肥料・農薬・農業被覆資材・
農産物・飼料の販売

中部化学株式会社

〒505-0305 岐阜県加茂郡八百津町和知桶ヶ洞3091-14

海外関係会社

生産事業本部

Moriroku Technology North America Inc.

15000 Industrial Parkway, Marysville, Ohio 43040, U.S.A.
TEL +1-937-738-7821
資本金 1,700万USドル
事業内容 自動車四輪部品製造販売

Listowel Technology, Inc.

1700 Mitchell Road South, Listowel, Ontario, Canada N4W 3H4
TEL +1-519-291-9900
資本金 1,780万カナダドル
事業内容 自動車四輪部品製造販売

広州森六塑件有限公司

中華人民共和国広東省広州市広州経済技術開発区永和経済区田園東路13号
TEL +86-20-8297-0096
資本金 800万USドル
事業内容 自動車四輪部品製造販売

武漢森六汽車配件有限公司

中華人民共和国武漢市東西湖区徑河街三店中路216号
TEL +86-27-8389-8808
資本金 800万USドル
事業内容 自動車四輪部品製造販売

Moriroku Philippines, Inc.

115, North Science Avenue, Laguna Technopark, Binan 4024, Laguna, Philippines
TEL +63-49-541-2892
資本金 2億フィリピンペソ
事業内容 自動車四輪部品製造販売(PEZA)

Moriroku Technology (Thailand) Co., Ltd.

Pinthong 1 Industrial Estate, 789/170 Moo 1, Tambol Nongkham, Amphur Sriracha, Chonburi 20230, Thailand
TEL +66-3-834-8288
資本金 4億5,000万タイバーツ
事業内容 自動車四輪部品製造販売

Moriroku Mobility Products (Thailand) Co., Ltd.

Siam Eastern Industrial Park, 60/11 Moo 3, Tambol Mabyangporn, Amphur Pluakdaeng, Rayong 21140, Thailand

事業内容 自動車四輪部品製造販売

Pt. Moriroku Technology Indonesia

Surya Cipta City of Industry, Jl. Surya Lestari Kav. I-2Ij, Kutamekar, Ciampel, Karawang, Jawa Barat, 41361, Indonesia
TEL +62-26-7863-7716
資本金 1,700万USドル
事業内容 自動車四輪部品製造販売

Moriroku Technology India Pvt. Ltd.

B/6-11, Sector-81, Phase-II, Noida-201 305, Distt. Gautam Budh Nagar, Uttar Pradesh, India
TEL +91-120-2-568573
資本金 9億3593万インドルピー
事業内容 自動車四輪・二輪部品製造販売

ケミカル事業本部

森六(広州)貿易有限公司

中華人民共和国広州市天河区林和西路9号耀中広場2702-03室
TEL +86-20-2208-2133
資本金 30万USドル
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

森六(天津)化学品貿易有限公司

中華人民共和国天津市和平区南京路189号津汇广场1座3207号室
TEL +86-22-8319-2358
資本金 54万USドル
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

Moriroku (Singapore) Pte., Ltd.

35 Selegie Road, #09-21 Parklane Shopping Mall, Singapore 188307
TEL +65-6336-2280
資本金 70万シンガポールドル
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

Moriroku (Thailand) Co., Ltd.

8th Floor, Maneeya Center Building 518/5, Ploenchit Road, Kwaeng Lumpini, Khet Patumwan, Bangkok 10330, Thailand
TEL +66-2-652-0607
資本金 1億タイバーツ
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

Moriroku Chemicals Korea Co., Ltd.

Samsung Jeil Bldg. 9F, 309 Teheran-ro, Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul 06151, Korea
TEL +82-2-527-2700
資本金 9億9,000万ウォン
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

Pt. Moriroku Chemicals Indonesia

M Gold Tower Office 17th Unit 8Jl. K.H. Noer Alie, Bekasi Selatan 17148 Jawa Barat, Indonesia
TEL +62-21-2808-7120
資本金 2,500百万インドネシアルピア
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

Moriroku Chemicals India Pvt., Ltd.

Suite No.1208, Altrade Business Centre, 12th Floor, DLF Building No.10, Tower-B, DLF Cyber City, Phase 2, Gurugram, Haryana-122002, India
TEL +91-124-643-4419
資本金 3,000万インドルピー
事業内容 インド及び周辺国におけるビジネスの開発、原材料の調達・販売

The Representative Office Of Moriroku Chemicals Co., Ltd. In Ho Chi Minh City

25F, Lim Tower, 9-11 Ton Duc Thang Street, Ben Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam.
TEL +84-28-7302-1877

Israel Representative Office

4F., Herzliya Star Building 4 Ha-Sadna'ot Street P.O Box 4137 Herzliya 4672831 Israel
TEL +972-9-954-8298

Moriroku Austria GmbH

Heiligenstaedter Strasse 50-52/10, 1190, Vienna, Austria
TEL +43-1-369-2005-11
資本金 30万ユーロ
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

Moriroku Germany Representative Office

Regus, 5th Floor Königsallee 92a 40212 Düsseldorf Germany

Moriroku America, Inc.

15000 Industrial Parkway, Marysville, Ohio 43040, U.S.A.
TEL +1-937-553-9235
資本金 65万USドル
事業内容 化学品・樹脂商品輸出入販売

M&C Tech Indiana Corporation

1928 Technology Drive, Washington, IN 47501, U.S.A.

生産事業本部

いすゞ自動車株式会社/カワサキモーターズ株式会社/トヨタ自動車株式会社/日産自動車株式会社/日産車体株式会社/
株式会社ホンダアクセス/本田技研工業株式会社/株式会社本田技術研究所

ケミカル事業本部

アイカ工業株式会社/ICL JAPAN株式会社/株式会社アイシン/アイシン化工株式会社/Agan Chemical Manufacturers/
アサヒグループ食品株式会社/株式会社アサヒベン/株式会社ADEKA/株式会社アルファ/EXEDY Friction Material/
SBカワスミ株式会社/エヌエスアドバンテック株式会社/Envalior有限会社/大阪有機化学工業株式会社/大塚化学株式会社/
大塚食品株式会社/大塚製薬グループ/大塚ポリテック株式会社/奥本製粉株式会社/オルネクスジャパン株式会社/花王株式会社/
関西ペイント株式会社/共栄社化学株式会社/株式会社クラレ/グローバルポリアセタール株式会社/三信化工株式会社/三洋化成工業株式会社/
JSR株式会社/シャープ株式会社/ショーワグループ株式会社/新第一塩ビ株式会社/神東塗料株式会社/新中村化学工業株式会社/
新日本理化株式会社/住友化学株式会社/住友ベークライト株式会社/積水化学工業株式会社/タイガースポリマー株式会社/
ダイキン工業株式会社/株式会社ダイセル/W.R.Grace/太松実業グループ/DIC株式会社/テイカ株式会社/帝人株式会社/
TEXCHEMグループ/天馬株式会社/東亜合成株式会社/東海興業株式会社/東京インキ株式会社/東京応化工業株式会社/東レ株式会社/
トキワ工業株式会社/日垂化学工業株式会社/日清紡ブレーキ株式会社/日鉄ケミカル&マテリアル株式会社/日東電工株式会社/
日宝化学株式会社/日油株式会社/日本エイアンドエル株式会社/株式会社日本触媒/日本電気硝子株式会社/日本乳化剤株式会社/
日本ペイントグループ/日本ポリエチレン株式会社/ヌヴォトン テクノロジージャパン株式会社/パーストープジャパン株式会社/
ハリマ化成株式会社/BASFジャパン株式会社/ビューテック株式会社/福助工業グループ/富士高分子工業株式会社/フジッコ株式会社/
株式会社プライムポリマー/PLAZIT/ポリプラスチック株式会社/Polyram Plastic Industries Ltd./本田技研工業株式会社/
三井化学株式会社/三井化学東セロ株式会社/三井物産株式会社/三井物産ケミカル株式会社/三井物産プラスチック株式会社/
三菱エンジニアリングプラスチック株式会社/三菱ケミカル株式会社/三菱電機株式会社/株式会社村田製作所/
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン/テクノUMG株式会社/ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ株式会社/
ランクセス株式会社/リンテック株式会社/株式会社レゾナック/株式会社レゾナック・ホールディングス/ロックペイント株式会社 他

主要取引銀行

三井住友銀行/阿波銀行/りそな銀行/三菱UFJ銀行/三井住友信託銀行/みずほ銀行

主要取扱商品	取扱部署	主要取扱商品	取扱部署
<ul style="list-style-type: none"> ● フェノールおよび誘導品 フェノール、ビスフェノールA、ノニルフェノール 	ファインケミカル部 コーティング課	<ul style="list-style-type: none"> ● 接着剤、シーリング材、粘着剤、コーティング材 フェノール系・尿素・メラミン系接着剤、酢酸ブチル系・ゴム系接着剤、シリコン系・アクリル系・ウレタン系シーリング剤、フッ素系塗料 ● プラスチック添加剤 難燃剤（臭素系、リン系、無機系 ほか）、滑材（金属石鹸系、アマイド系、ビスアマイド系 ほか）、造核剤（ビスソルビトール ほか）、酸化防止剤（フェノール系、ホスファイト系 ほか）、紫外線吸収剤、IR吸収剤、帯電防止剤、高分散カーボンナノチューブ、重合触媒、充填剤（ガラスマット、ローピング、ビーズ、チタン酸カリウスイカ、炭酸カルシウム、酸化アルミニウム、シリカ、シリカゲル、カオリン、木粉 ほか） 	ファインケミカル部 コーティング課 ファインケミカル部 機能材料課 ライフサイエンス部 マテリアル課
<ul style="list-style-type: none"> ● メタノールおよび誘導品 メタノール、ホルマリン、パラホルム 	ファインケミカル部 コーティング課		
<ul style="list-style-type: none"> ● 有機酸 無水フタル酸、イソフタル酸、無水マレイン酸、コハク酸、アジピン酸 	ファインケミカル部 コーティング課	<ul style="list-style-type: none"> ● 難燃剤（臭素系、リン系、無機系 ほか）、滑材（金属石鹸系、アマイド系、ビスアマイド系 ほか）、造核剤（ビスソルビトール ほか）、酸化防止剤（フェノール系、ホスファイト系 ほか）、紫外線吸収剤、IR吸収剤、帯電防止剤、高分散カーボンナノチューブ、重合触媒、充填剤（ガラスマット、ローピング、ビーズ、チタン酸カリウスイカ、炭酸カルシウム、酸化アルミニウム、シリカ、シリカゲル、カオリン、木粉 ほか） 	ファインケミカル部 機能材料課 モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課
<ul style="list-style-type: none"> ● 酢酸および誘導品 酢酸、酢酸エチル、酢酸ブチル、酢酸ビニールモノマー、PVA 	ファインケミカル部 コーティング課		
<ul style="list-style-type: none"> ● アクリル酸・メタクリル酸および誘導品 アクリル酸、アクリル酸エステル類、メタクリル酸、メタクリル酸エステル類 	ファインケミカル部 ファインケミカル課 ファインケミカル部 コーティング課	<ul style="list-style-type: none"> ● 顔料 酸化チタン、微粒子酸化チタン、アルミニウムペースト、沈降性硫酸バリウム、有機顔料、ニグロシン、シリカ、アルミナ 	ファインケミカル部 コーティング課
<ul style="list-style-type: none"> ● EO,POおよび誘導品 EO、EG、PEG、エタノールアミン、PO、PG、PPG 	ファインケミカル部 コーティング課		
<ul style="list-style-type: none"> ● 多価アルコールおよびグリコール類 ペンタエリスリトール、トリメチロールプロパン、ネオペンチルグリコール、グリセリン 	ファインケミカル部 ファインケミカル課 ファインケミカル部 コーティング課	<ul style="list-style-type: none"> ● 合成染料、顔料 分散染料、VAT染料、反応染料、法定色素、水性顔料 	ファインケミカル部 コーティング課
<ul style="list-style-type: none"> ● 有機溶剤 トルエン、キシレン、シクロヘキサン、IPA、アセトン、MEK、MIBK、シクロヘキサノン、セロアセ、PMAC、グリコールエーテル類、DMF、NMP、DMSO、メチクロ、ODCB、クロロホルム 	ファインケミカル部 コーティング課		
<ul style="list-style-type: none"> ● 無機薬品 臭素、臭素化合物、硫黄、硫酸、燐酸、苛性ソーダ、硫酸マグネシウム、塩化マグネシウム、過酸化水素、活性炭、過マンガン酸カリ、工業用ガス（HBr、シランガス、フロンガス）、アルミナ 	ファインケミカル部 ファインケミカル課	<ul style="list-style-type: none"> ● 酵素 セルラーゼ、アミラーゼ、プロテアーゼ 	ファインケミカル部 コーティング課
<ul style="list-style-type: none"> ● その他製品 液体アンモニア、尿素、メラミン、TDI、MDI、ポリオール、アクリロニトリル、アクリルアמיד、還元剤（SBH）、N-メチルタウリン 	ファインケミカル部 ファインケミカル課 ファインケミカル部 コーティング課		
<ul style="list-style-type: none"> ● 熱硬化性樹脂 フェノール樹脂（工業用レジン、成形材料 ほか）、エポキシ樹脂および硬化剤（液状・固形エポキシ、アミン系・酸無水物系硬化剤 ほか）、不飽和ポリエステル樹脂（FRP用、化粧板、塗料用、土木用、触媒、促進剤 ほか）、ポリウレタン（フォーム、エラストマー、塗料用樹脂 ほか）、メラミン樹脂（メチル化メラミン樹脂、ブチル化メラミン樹脂 ほか）、ロジン-マレイン酸樹脂、アクリル樹脂（液状、粉体、エマルジョン ほか）、アルキド樹脂、エマルジョン系樹脂（酢酸ビニル系、SBR系、アクリル系 ほか） 	ファインケミカル部 コーティング課 モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課	<ul style="list-style-type: none"> ● 油脂・油剤 植物系、動物系、脂肪酸 	ファインケミカル部 ファインケミカル課 ファインケミカル部 機能材料課
		<ul style="list-style-type: none"> ● 界面活性剤 アニオン系、ノニオン系、カチオン系 	ファインケミカル部 ファインケミカル課 ファインケミカル部 機能材料課
		<ul style="list-style-type: none"> ● 農薬中間物 OCPNA、ヒダントイン、安息香酸、臭素化合物 	ファインケミカル部 ファインケミカル課
		<ul style="list-style-type: none"> ● 医薬原料 セルロース誘導品 	ファインケミカル部 ファインケミカル課
		<ul style="list-style-type: none"> ● 肥料、農業、土壌改質剤 	ファインケミカル部 ファインケミカル課
		<ul style="list-style-type: none"> ● 農業用・ゴルフ場用資材 	ライフサイエンス部 生活資材課

主要取扱商品	取扱部署	主要取扱商品	取扱部署
<ul style="list-style-type: none"> • 建材 集成材（オーク材）、メラミン化粧板、ポリ板、スポーツ施設用資材 	ライフサイエンス部 マテリアル課	<ul style="list-style-type: none"> • 熱可塑性エラストマー TPE（オレフィン系、スチレン系、ポリエステル系、ポリウレタン系） 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課 ライフサイエンス部 マテリアル課 ライフサイエンス部 メディカル課
<ul style="list-style-type: none"> • 半導体製造用材料 フォトレジストおよび薬品、レジスト用樹脂、封止材用エポキシ樹脂、硬化剤、封止材用添加剤（カップリング剤、ワックス）、封止材用金型類、放熱フィルター、工程フィルム 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課	<ul style="list-style-type: none"> • 可塑性 DOP・DINP・ESBO・TOTM 	ライフサイエンス部 マテリアル課 ライフサイエンス部 メディカル課
<ul style="list-style-type: none"> • プリント配線板用材料 フェノール・エポキシ基板、ドライフィルム、エッチングレジストインキ、ソルダーレジストインキ、フラックス洗浄剤 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課	<ul style="list-style-type: none"> • シリコーン RTV・オイル・グリス・ワニス 	ファインケミカル部 機能材料課
<ul style="list-style-type: none"> • 電池材料 炭酸リチウム、酸化コバルト、ニッケル、マンガン 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課	<ul style="list-style-type: none"> • 粘・接着剤 アクリル系・合成ゴム系・ホットメルト系・エポキシ系、ナフテンオイル 	ファインケミカル部 コーティング課 ファインケミカル部 機能材料課 ライフサイエンス部 マテリアル課
<ul style="list-style-type: none"> • ファインセラミック 窒化アルミ、窒化ケイ素、窒化ホウ素、炭化ケイ素、PZT、PTC、セラミック製品、電子デバイス 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課	<ul style="list-style-type: none"> • 樹脂成形品・金型 射出成形品、押出成形品、真空成形品、フロー成形品 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課 ライフサイエンス部 生活資材課
<ul style="list-style-type: none"> • 汎用樹脂 PP（ポリプロピレン）、PE（ポリエチレン）、PS（ポリスチレン）、EVA（エチレン酢酸ビニル共重合体）、ABS（アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン）、PVC（塩化ビニル）、塩ビコンパウンド、樹脂コンパウンド（着色） 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課 ライフサイエンス部 マテリアル課 ライフサイエンス部 メディカル課	<ul style="list-style-type: none"> • 樹脂製品 不織布、フィルム・シート、受注成形品（インジェクション、インフレーション） 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課 ライフサイエンス部 機能材料課 ライフサイエンス部 メディカル課
<ul style="list-style-type: none"> • 高機能樹脂 PA（ナイロン）、PC（ポリカーボネート）、POM（ポリアセタール）、PBT（ポリブチレンテレフタレート）、PET・GF-PET（ポリエステルテレフタレート）、PMMA（アクリル）、COC（シクロオレフィンコポリマー）、PI（ポリイミド）、変性PPE・PPO（ポリフェニルエーテル・ポリフェニレンオキサイド）、PEEK（ポリエーテルエーテルケトン） 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課 ライフサイエンス部 マテリアル課 ライフサイエンス部 メディカル課	<ul style="list-style-type: none"> • 環境対応型商品 油除去資材、再生PET製品、環境負荷低減材料 	ライフサイエンス部 マテリアル課
<ul style="list-style-type: none"> • 生分解樹脂 PLA（ポリ乳酸樹脂） 	ライフサイエンス部 マテリアル課	<ul style="list-style-type: none"> • その他 低温粉碎 	ファインケミカル部 機能材料課
<ul style="list-style-type: none"> • 合成ゴム NBR・H-NBR・SBR・EPDM 	モビリティ部 東日本営業課 モビリティ部 中部・西日本営業課 ライフサイエンス部 マテリアル課		



MoriRokuGr.

森六

MORIROKU